

## 第 60 回日本分娩監視研究会プログラム

当番幹事：東邦大学医療センター大森病院 内藤智子 中田雅彦

日時：2024 年 6 月 29 日 土曜日 13：00～（12：30 受付開始）

場所：東邦大学 看護学部 第 1、2 講義室

参加費：医師 5000 円 助産師/看護師 3000 円 学生 1000 円

12：30～受付開始

13：00～13：05 開会あいさつ

当番幹事：東邦大学医療センター大森病院 産婦人科病棟看護師長 内藤智子

13：05～14：05 講演 1 脳性麻痺の原因分析から見た CTG の読み方

座長 東京都立墨東病院 産婦人科 部長 兵藤博信

講師 東邦大学医療センター大森病院 産婦人科主任教授 中田雅彦

※日本専門医機構「産婦人科領域講習受講単位」が取得できます。

※アドバンス助産師更新申請要件「選択研修」に該当します。受講証明書を発行します。

14：10～15：10 講演 2 脳性麻痺発症の原因分析：新生児蘇生と新生児管理

座長 東邦大学医学部 特任教授 与田仁志

講師 東邦大学医療センター大森病院 新生児科准教授 増本健一

※日本専門医機構「産婦人科領域講習受講単位」が取得できます。

※アドバンス助産師更新申請要件「選択研修」に該当します。受講証明書を発行します。

15：15～15：30 日本分娩監視研究会 総会

15：35～16：05 この CTG をどう読むか？ 発表・討論 15 分（2 題）

座長 埼玉医科大学総合医療センター 馬場一憲

昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 小松玲奈

1) 陣痛発来前より頻回な徐脈の出現があり判断に苦慮した例

東邦大学医療センター大森病院 池内遥香、他

2) 分娩進行中に HDP を発症し NRFS のため帝王切開となった一例

昭和大学江東豊洲病院 田村麻里子、他

16：10～17：10 一般演題 発表7分、討論3分 (6題)

座長 都立大塚病院 産婦人科 岩田みさ子

東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部 前村俊満

- 1) 母体ショックにより胎児機能不全を呈したが待機的管理で正期産と出来た2症例  
東京都立墨東病院 新田慧、他
- 2) サイナソイダル様のパターンが高頻度に出現し、正常分娩に至った一例  
総合母子保健センター愛育病院 箕山明華、他
- 3) 分娩時のCTG所見と出生児の酸血症に乖離を認めた一症例  
東邦大学医療センター大森病院 楠山良子、他
- 4) メトロイリント挿入後に臍帯下垂を認め緊急帝王切開となった一症例  
東京都立病院機構 東京都立荏原病院 宮城裕美、他
- 5) 一過性徐脈が頻発して分娩予測やCTGの判断に苦慮した一症例  
産育会 堀病院 宮田喜美子、他
- 6) 妊娠31週に胎児機能不全と診断されたCTG所見を振り返って  
福島県立医科大学附属病院 佐藤未来、他

17：10～ 次回当番幹事挨拶

東京都立大塚病院 産婦人科部長 岩田みさ子

閉会挨拶

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科主任教授 中田雅彦

※医師の皆様へ

JSOGアプリのデジタル会員証またはJSOGカードをご使用いただきます。事前にJSOGアプリをダウンロードいただくか、JSOGカードを必ずご持参ください。

E医学会カード(UMINカード)はご使用できませんのでご注意ください。